

Yahoo! JAPAN、バーコードを使った実店舗でのスマホ決済機能を6月から提供

～ 口座数約4,000万（※1）の「Yahoo!ウォレット」にスマホ決済機能を追加。

先行して4月から「税金・公共料金のバーコード決済」も開始 ～

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は、口座数約4,000万の決済サービス「Yahoo!ウォレット」に、バーコードを使ってスマートフォンから決済できる機能（以下、本機能）を追加し、2018年6月から実店舗での利用に対応します。また、実店舗での利用に先立ち、2018年4月から、払込票に記載されたバーコードを読み取り自宅などで税金や公共料金を支払える「税金・公共料金のバーコード決済」の提供を開始します。

<本機能の概要>

本機能の追加により、「Yahoo!ウォレット」を利用するユーザーは、これまでインターネット上のみで利用していた決済機能を、多くの実店舗で利用できるようになります。

支払い方法は、「Yahoo!ウォレット」に登録したクレジットカードによる支払いと、コンビニエンスストアや銀行口座などからあらかじめチャージした「Yahoo!マネー」（電子マネー）（※2）による支払いの2種類から選択できます。

バーコードによる決済方法は、以下の2通りの方式を提供します。バーコードは、1次元バーコードとQRコードに対応します。

1. 「Yahoo! JAPAN」アプリ上に表示したバーコードを、店舗の端末やレジに提示する「みせる」決済（2018年6月開始予定）
2. 店舗側の表示するバーコードを、「Yahoo! JAPAN」アプリでスキャンする「よみとる」決済（2018年秋開始予定）



<本機能の加盟店の導入メリット>

本機能は、すでに多くのユーザーを持つ「Yahoo! JAPAN」アプリから利用します。また、「Yahoo!ウォレット」はインターネット上の決済手段として約4,000万の口座数があるため、「Yahoo! JAPAN」アプリと「Yahoo!ウォレット」のユーザーに対して実店舗での利用を促すことができます。さらに、今後はYahoo! JAPANのさまざまなデータを活用した集客ソリューションを加盟店に提供する予定です。

<「税金・公共料金バーコード決済」について>

税金や公共料金の払込票に記載されたバーコードを「Yahoo! JAPAN」アプリでスキャンし、「Yahoo!マネー」（電子マネー）を使って支払える機能を、2018年4月より提供します（※3）。これにより、24時間いつでもどこでも、手数料なしで税金・公共料金が支払えるようになります。支払える税金・公共料金の種類は、住民税・固定資産税、ガス料金・水道料金などで、自治体により異なります。全国150以上の自治体が対象です（2018年3月28日時点）。

対象の自治体は以下のページよりご確認ください。

<https://wallet.yahoo.co.jp/promotion/paymentslip/>



1. 「QR・バーコード読み取り」をタップしてカメラを起動。



2. 払込票に印刷されているバーコードをカメラで読み取り。

Yahoo! JAPANは「Yahoo!ウォレット」を通じて、オンラインとオフラインの垣根無く利用できる便利な決済サービスをユーザーに提供し、お金にまつわるさまざまな課題の解決を目指していきます。また同時に、集客ソリューションなど加盟店にとっての導入メリットも創出していきます。

※1 2018年3月27日時点の「Yahoo!ウォレット」口座数：3,984万

※2 「Yahoo!マネー」は、「Yahoo!ウォレット」の一機能です。事前にコンビニエンスストアや銀行口座などからチャージした分より支払う電子マネーのため、使い過ぎが気になる現金派のニーズにも応えるサービスです。

※3 「税金・公共料金のバーコード決済」の支払い方法は「Yahoo!マネー」（電子マネー）による支払いのみとなります。クレジットカードによる支払いには対応していません。